

知って備える 防災メモ

第65回



土砂災害から身を守るために

4月11日(水)、大分県中津市で発生した土砂災害では、多くの尊い命が失われました。

土砂が流れてくるときの破壊力は非常に大きく、一瞬にして家屋を飲み込み、人命を奪います。ひとたび起きてしまったら防ぎようのない土砂災害。自らの命を守るためにどのようなことが重要か確認しておきましょう。

日頃から備えを確認

どのような災害も日頃から備えることが大切です。土砂災害から身を守るために、次のポイントをあらかじめ確認しておきましょう。

○自分の住んでいる場所を知る

土砂災害のおそれのある地区は『土砂災害警戒区域』や『土砂災害特別警戒区域』に指定されています。

指定された区域は、総務グループや市公式ウェブサイトで確認できます。



※指定されていない場所でも、崖や山、沢が近くにあれば、日頃から注意が必要です。

○気象情報に注意

雨が降り始めたら、テレビやラジオで放送される『大雨警報(土砂災害)』や『土砂災害警戒情報』に注意しましょう。

また、これらの警報や警戒情報は、緊急速報メールや登別市防災メールでも配信されます。

○早めの避難

土砂災害警戒情報などが発表されたら、市は土砂災害のおそれのある地区に対して、避難勧告などを発令しますので、速やかに避難行動をとりましょう。

避難に時間がかかる方は、移動時間も考えて早めに避難することが重要です。

○異変に注意

大分県の土砂災害は、発生前にまとまった雨が降っていないかつたもの、前兆現象があったと報告されています。「石が落ちてくる」、「ゴーと地鳴りが聞こえる」などの異変を感じたら速やかに避難しましょう。

▼問い合わせ

総務グループ(☎**85** 1 1 3 0)

人が輝き まちがとぎめく

仲間たち

Group

ジャムール JAMR30



人のつながりを大切に 人生もバレーボールも楽しく

『JAMR30』は、30年ほど前から続いている男女混合のミックスバレーボールのサークルです。現在、メンバーは20代から50代までの男女20人。毎週水曜日の19時から20時50分まで、総合体育館で活動しています。

「何か運動を始めたいと思っていたところ、7年前に知人から誘いを受け、このサークルと出会いました。もともとバレーボールの経験はありませんでしたが、みんなで助け合いながらできるスポーツで、とても楽しんでいきます」と笑顔で話すのは代表の高橋(たかはし)きよしさん。

現在は、経験者半分、初心者半分といったメンバー構成で、仕事帰りに集まってバレーボールを楽しんでいます。



▲輪になってアタックなどの基礎練習をするメンバー

平成30年3月に加入したばかりの加藤(かとう)正人(まさと)さんは、「ミックスバレーボールのサークルをずっと探していました。40代になっても体を動かせることは楽しいです」と練習に励みます。

また、2年前から札幌市で開催されるミックスバレーボールの大会に出場しており「3年以内に上位を目指す」とやる気を見せる高橋さん。一緒にバレーボールを楽しめるメンバーを募集しています。

見学や入会を希望する方は高橋さん(☎**83** 4 7 5 1)まで。